

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年11月10日

会社名：東レインターナショナル株式会社

上場区分：非上場

URL <https://www.toray-intl.co.jp>

代表者：（役職名） 代表取締役社長 （氏名） 沓澤 徹

問合せ先責任者：（役職名） 取締役 経営企画管理部長 （氏名） 榎本 浩二

TEL 03（3245）5814

（百万円未満四捨五入）

1. 2022年3月期第2四半期累計期間の業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 経営成績

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当第2四半期累計期間	273,261	16.9%	5,881	16.0%	7,665	18.3%	6,118	28.6%
前第2四半期累計期間	233,730	△23.6%	5,071	△18.4%	6,481	△23.9%	4,757	△34.2%

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
当第2四半期累計期間	191,143円	42銭	—	—
前第2四半期累計期間	148,621円	95銭	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当第2四半期会計期間	199,537	45.6%	91,014	45.6%	91,014	45.6%
前会計年度	191,258	45.4%	86,844	45.4%	86,844	45.4%

（参考）自己資本 当第2四半期会計期間 91,014百万円 前会計年度 86,844百万円

2. 2022年3月期の業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	566,400	13.4%	11,800	9.6%	14,600	11.9%	10,900	17.0%	340,571円	79銭

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年3月期2Q	32,005株	2021年3月期	32,005株
2022年3月期2Q	—	2021年3月期	—
2022年3月期2Q	32,005株	2021年3月期	32,005株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

※ 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2018年3月30日）が2018年4月1日以後開始する事業年度の期首から適用できることになったことに伴い、前事業年度の期首から収益認識に関する会計基準等を適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

### 【当期の経営成績】

当第2四半期累計期間(2021年4月1日～9月30日)の世界経済は、中国経済の回復持続に加えて、新型コロナウイルスによる落ち込みからの反動と、欧米が先行するワクチン接種を背景とした行動制限の緩和、及び米国の大型景気対策もあって大きく回復しました。一方、日本では首都圏を中心に緊急事態宣言が再発令されましたが、ワクチン接種の進捗によって新規感染者が減少し、経済活動に回復の動きがみられました。

このような事業環境の中で、当社は2020年5月から、グループ商事機能の基盤強化と拡張を土台に、自販力の強化と新事業の創出を目指し、2022年度までの3カ年を期間とする中期経営課題“プロジェクトAP-G 2022”をスタートしています。

中経2年目となる当期の売上高は前年同期比 +16.9%増の 273,261百万円、営業利益は同 +16.0%増の 5,881百万円、経常利益は +18.3%増の 7,665百万円、当期純利益は +28.6%増の 6,118百万円となりました。

事業分野毎の状況は以下のとおりです。

#### [衣料素材]

衣料用ファイバーの販売は堅調に推移しました。テキスタイルは、スポーツ用途、自動車用途が堅調でした。インテリア分野も堅調に推移しました。この結果、衣料素材事業全体では、売上高は前年同期比 +41.7%増の 32,819百万円となりました。

#### [繊維資材・物資]

産業資材は、自動車用途、防護服用途が堅調に推移しました。綿花、皮革関連も堅調でした。この結果、繊維資材・物資事業全体では、売上高は前年同期比 +33.9%増の 25,025百万円となりました。

#### [アパレル]

カジュアル分野向けは堅調も、大手SPA向け受注減、スポーツ、アウトドア分野向けはコロナ影響による生産、納品計画後倒しにより低調に推移しました。この結果、アパレル事業全体では、売上高は前年同期比 -11.3%減の 65,967百万円となりました。

#### [樹脂・ケミカル]

樹脂事業は、グループ向け輸出入取引が堅調に推移した他、国内外での自販も拡大しました。ケミカル事業は、化学品市況が高値で推移し、炭素繊維原料、農薬原料の堅調に加え塗料原料など自販も拡大しました。この結果、樹脂・ケミカル事業全体では、売上高は前年同期比 +71.7%増の 67,566百万円となりました。

#### [フィルム]

タブレットPC、スマートフォン関連で積層セラミックコンデンサ、光学用途が堅調に推移した他、グループ向け輸出入取引も堅調でした。この結果、フィルム事業の売上高は前年同期比 +12.8%増の 21,883百万円となりました。

[複合材料・機材]

複合材料事業は、航空用途は低調だったものの、スポーツ用途、産業用途、コンポジット部材を中心に堅調に推移しました。機器販売は、グループ向け新規増設設備機器が低調に推移しました。この結果、複合材料・機材事業全体では売上高は前年同期比 -12.6%減の 30,000百万円となりました。

[電子情報材料]

電子情報材料事業は、有機EL用、および半導体用エレクトロコーティング剤の販売が堅調に推移しました。この結果、売上高は前年同期比 +30.2%増の 19,717百万円となりました。

[水処理・環境]

浄水器事業は低調でしたが、水処理膜の販売が堅調でした。この結果、水処理・環境事業全体では、売上高は前年同期比 +11.1%増の 9,857百万円となりました。

以 上

## 【貸借対照表】

	(単位：百万円)	
	前会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,824	4,463
受取手形及び売掛金	144,577	135,555
商品	20,076	27,770
その他	14,258	22,295
貸倒引当金	△ 1,134	△ 1,040
流動資産合計	180,602	189,043
固定資産		
有形固定資産	301	242
無形固定資産	741	692
投資その他の資産		
投資有価証券	4,858	4,965
その他	5,961	5,795
貸倒引当金	△ 1,206	△ 1,200
投資その他の資産合計	9,614	9,560
固定資産合計	10,656	10,494
資産合計	191,258	199,537

(単位：百万円)

	前会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	77,235	84,677
短期借入金	10,302	3,695
未払法人税等	551	122
引当金	802	868
その他	14,679	18,345
流動負債合計	103,569	107,708
固定負債		
長期借入金	—	—
退職給付引当金	333	331
その他の引当金	56	66
その他	458	418
固定負債合計	846	816
負債合計	104,414	108,523
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,040	2,040
資本剰余金	863	863
利益剰余金	83,022	86,838
株主資本合計	85,925	89,742
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,393	1,466
繰延ヘッジ損益	△ 474	△ 194
評価・換算差額等合計	918	1,272
純資産合計	86,844	91,014
負債純資産合計	191,258	199,537

## 【損益計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	233,730	273,261
売上原価	223,127	261,464
売上総利益	10,603	11,797
販売費及び一般管理費	5,532	5,917
営業利益	5,071	5,881
営業外収益		
受取利息	38	25
受取配当金	1,306	1,789
為替差益	98	—
雑収入	10	12
営業外収益合計	1,452	1,827
営業外費用		
支払利息	18	25
為替差損	—	16
手形売却損	1	1
雑損失	24	—
営業外費用合計	42	42
経常利益	6,481	7,665
特別利益		
その他特別利益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
投資等評価損	159	37
その他特別損失	0	4
特別損失合計	159	41
税金等調整前当期純利益	6,323	7,624
法人税、住民税及び事業税	1,566	1,507
当期純利益	4,757	6,118

## 【商品別売上高比率】

部門	当第2四半期累計期間 (2021. 4. 1-2021. 9. 30)		前第2四半期累計期間 (2020. 4. 1-2020. 9. 30)		対前年同四半期増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
衣料素材部門	32,819	12.0%	23,158	9.9%	9,661	41.7%
繊維資材・物資部門	25,025	9.2%	18,695	8.0%	6,330	33.9%
アパレル部門	65,967	24.1%	74,404	31.8%	▲ 8,437	▲11.3%
樹脂・ケミカル部門	67,566	24.7%	39,355	16.8%	28,211	71.7%
フィルム部門	21,883	8.0%	19,401	8.3%	2,482	12.8%
複合材料・機材部門	30,000	11.0%	34,335	14.7%	▲ 4,335	▲12.6%
電子情報材料部門	19,717	7.2%	15,148	6.5%	4,569	30.2%
水処理・環境部門	9,857	3.6%	8,869	3.8%	988	11.1%
合計（その他事業を含む）	273,261	100.0%	233,730	100.0%	39,531	16.9%

## 【形態別売上高比率】

形態	当第2四半期累計期間 (2021. 4. 1-2021. 9. 30)		前第2四半期累計期間 (2020. 4. 1-2020. 9. 30)		対前年同四半期増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	比率 (%)
輸出	91,094	33.3%	77,708	33.2%	13,386	17.2%
三国間	90,978	33.3%	77,622	33.2%	13,356	17.2%
輸入	50,652	18.5%	47,180	20.2%	3,473	7.4%
国内	40,537	14.8%	31,222	13.4%	9,315	29.8%
合計	273,261	100.0%	233,730	100.0%	39,531	16.9%